



2015年12月4日

世界統計の日フォーラム

会場：国連大学（東京）

公的統計の発展のための 専門学会の役割

川崎 茂

前・ IAOS 会長(2013-2015)

日本大学教授

内容

1. はじめに
2. 専門学会としてのISIとIAOS
3. 専門学会の役割
4. 結び

1. はじめに (1)

- 本日のフォーラムの狙いは、社会における公的統計の重要な役割を周知し、国内外の協力を通じて、公的統計の価値を向上させる可能性について議論・検討すること
- このセッションの最初のスピーカーとして、ISIとIAOSという専門学会の観点から説明

1. はじめに (2)

- 「世界統計の日2015」は、100か国以上で取組
- 国や国際的な統計部局が中心となって活動
- ISIやIAOSといった専門学会も、「世界統計の日2015」を支援
- 公的統計の更なる発展のために、我々はどのように連携・協力していけば良いか？



2. 専門学会としての ISIとIAOS(1)

国際統計協会

(ISI:International Statistical Institute)

- 1885年、政府や学会の著名な統計学者によって設立
- 世界規模の統計の理解、開発、優れた実践の促進を目的
「より良い世界のための統計科学」
- 100以上の国・地域からの4,500人の一般会員と、90の各国統計部局 (NSOs) や30の国際統計組織 (ISOs) を含む150の団体会員から構成



2. 専門学会としての ISIとIAOS(2)

ISIはその傘下に以下の7つの分野別協会を構成:

- ベルヌーイ協会 (数理統計)
- **IAOS (公的統計)**
- IASC (コンピューター統計)
- IASE (統計教育)
- IASS (調査統計)
- ISBIS (ビジネス・産業統計)
- TIES (計量環境科学)

2. 専門学会としての ISIとIAOS(3)

国際公的統計協会

(IAOS: International Association for Official Statistics)

- ISIの下部協会として、1985年に設立
- 公的統計の理解及び向上の推進を目的
- 隔年で国際会議を開催
(2014年:ベトナム・ダナン、2016年:UAE・アブダビ)
- 論文誌 (Statistical Journal of the IAOS) を発行
- 毎年、各国統計部局 (NSOs) や国際統計組織 (ISOs) の若手職員を対象に、若手統計家賞コンクールを開催

3. 専門学会の役割

専門学会は、以下の取組を通じて、公的統計に貢献:

- 科学的知識の提供
- 根拠に基づく政策形成の推進
- 公的統計の人材資源開発を支援
- 統計作成者と統計ユーザーの間のより良いコミュニケーションの促進
- 一般市民の統計リテラシーの向上



4. 結び



Better Data, Better Lives

(より良いデータ、より良い生活)
「世界統計の日2015」のテーマ (国連統計部)

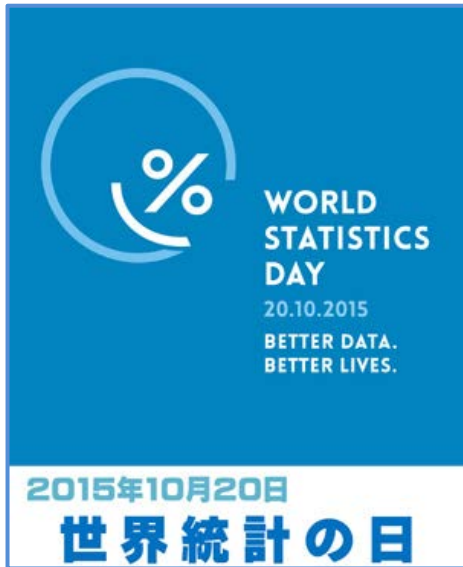
Statistics for All, with All

(すべての人のために、すべての人とともにある統計を目指して)
「世界統計の日2015」のテーマ (日本)

Statistical Science for a Better World

(より良い世界のための統計科学)
ISIのテーマ

- 国や国際的な統計組織と専門学会は、世界規模で、公的統計の発展と利用向上を進めるために、力を合わせていく必要がある。



終

ありがとう
ございました！